

応援します

白井
なおこ
さんを

日野・生活者ネットワークニュース No.166 2021.12.10

■発行/日野・生活者ネットワーク ■発行責任者/出沼恵美子
■〒191-0062 日野市多摩平 2-3-12 中央日石ビル 4階
■TEL.042-514-8695 FAX.042-514-8697
E-mail hino-net@cap.ocn.ne.jp URL http://hino.seikatsusha.me

日野・生活者ネットワーク

白井なおこ

しらい

私の決意

この4年間を振り返ると、はじめの1年は会派に属さず、2年目に会派を結成、3年目からはコロナ禍の中の活動でした。

お受けした数々のご相談や、紹介議員となって共に取り組んだ請願など、共に悩み、考え、話し合った沢山の方々のお顔が目に浮かびます。もちろん厳しいご意見をいただいたり、ご納得いただけないこともありましたが、私は全ての出会いとご意見の一つ一つに、育てていただいたと感じています。時々「今は元気にやっています」といった近況をお知らせいただくと、私も元気になるます。笑顔は連鎖します。だからもっともっとまちに笑顔を増やしたい。

私が心掛けていることは、その人が本来持っている力を引き出したいということ。そして個人的な課題を政治につなぐこと。その志を持って、二期目に挑戦します。

白井なおこ



白井なおこ

プロフィール

■ 1971年10月/埼玉県に生まれる ■ 72年/日野市に転入 ■ 78年/光塩幼稚園卒園(日野市) ■ 84年/日野市立南平小学校卒業
■ 87年/日本女子大学付属中学校卒業 ■ 90年/日本女子大学付属高校卒業 ■ 94年/日本女子大学人間社会学部現代社会学科卒業。卒業後、東京・福岡・京都で舞台芸術、文化事業、スポーツイベントなどの仕事に携わる ■ 2012年/滋賀県大津市に転居。滋賀県大津市男女共同参画審議会公募委員。滋賀県嘉田 由紀子知事(当時)主宰の未来政治塾に第1期生として学ぶ ■ 13年/日野市に転入。生活クラブ生協に加入。まち日野三沢コミュニティを立ち上げ、活動する ■ 14年/東京都児童福祉審議会公募委員 ■ 17年/日野・生活者ネットワーク政策委員 ■ 18年/日野市議会議員選挙に初当選。所属：企画・総務委員会 ■ 20年~/所属：議会運営委員会 環境まちづくり委員会 議会改革等特別委員会 浅川清流環境組合議会

●家族：夫 子(中学生)(旧姓 加藤) ●日野市三沢在住 ●趣味：フィギュアスケート、サルサ(ダンス)、海外ドラマ鑑賞

●日野・生活者ネットワーク白井なおこの活動を紹介します。



嘉田由紀子

●参議院議員/前滋賀県知事/未来政治塾塾長

白井なおこさんは、私が「政治は未来をつくる」という信念のもと立ち上げた「未来政治塾」の一期生。市民の皆さんの思いと願いに近い政治を実現してくれるはず。一期目の日野市議会の活躍経験をいかさせてください。

大河原まさこ

●衆議院議員/元東京・生活者ネットワーク都議会議員

皆川満寿美

●中央学院大学准教授

浅倉むつ子

●労働法研究者

椋 大樹

●弁護士/「檻の中のライオン」著者

海南友子

●ドキュメンタリー映画監督

川原山浩一

●NPO法人太陽光発電所ネットワーク東京・日野

柳澤典子

●三沢コミュニティ

増田和美

●生活クラブ生協東京理事長

落合由美

●多摩南生活クラブ生協理事長

奈良由貴

●足元から地球温暖化を考える市民ネットえどがわ代表

堀 利和

●視覚障害者元参議院議員

岩永やす代

●東京・生活者ネットワーク都議会議員

吉岡なつえ

●前日野市議会議員

執印真智子

●元都議会議員

出沼恵美子

●元日野市議会議員

古池初美

●元日野市議会議員

一社・共に働くワーカーズえんこらしよ代表



女性への暴力をなくす!と毎月11日に行う「フラワー遊説」に立つ白井なおこ

ひとりにしない
子育て・介護
支えあい分かちあふ
地域共生社会へ

日野・生活者ネットワーク
市議会議員

ひとりにしない子育て・介護

白井 なおこ

生活者ネット3つのルール

- 1 議員は交代制 (ローテーション)
- 2 議員報酬は 市民の政治活動資金に
- 3 選挙はカンパと ボランティアで

自分らしく
共に生きられる
社会に!
政治は未来を
つくるもの
市民と議会、行政を
つなぎ、7つの
政策を実現します

日野・生活者ネットワーク



http://shirai.seikatsusha.me

白井なおこ

白井なおこの7つの提案

日野・生活者ネットワーク



1 ケアする人もされる人も、誰もが安心して暮らせるように

●ヤングケアラーやダブルケア、老々介護など、介護する人を支えるため「ケアラー支援条例」をつくります●ワンストップで家族まるごと支援ができるよう、地域包括支援センターの役割を強化します●在宅療養を選択できる体制を拡充します●介護中のひとと終えた人も、心を開いて話し合える「ケアラースカフェ」などを充実します

2 子どもの権利が守られ、いきいき育つ環境をととのえる

●子どもが相談できる救済機関「子どもオンブズパーソン制度」をつくります●みんな食堂やプレーパークなど、子どもが安心して過ごせる第三の居場所を増やします●勉強がわかる喜びを得られる学習支援を行います●学校に行けない、行かない子どもたちの個に応じた学びを保障します●わたしもあなたも大切！幼少期から人権教育としての性教育をすすめます●作業療法士を学校に配置し、障がいの有無に関わらず、すべての子が共に学ぶインクルーシブ教育をすすめます●産後うつや離婚にまつわる問題なども含め、保護者が何でも相談できるしくみを整えます

3 すべての人が自分らしく「共に」生きる社会を実現する

●性による差別をなくすため、すべての施策をジェンダーの視点で見直す「ジェンダー主流化」をすすめます●パートナーシップ条例をつくり、多様な家族のあり方を応援します●化学物質過敏症（香害など）や電磁波過敏症への理解を深め、誰もが安心して暮らせる環境を整えます●地域の課題を解決するために、みんなで運営する働き方「ワーカーズ」を広めます●憲法を日々の生活の中で感じ、活かしていけるよう、身近に対話の機会をつくります

4 ストップ地球温暖化！自分から地域からはじめよう

●原発に頼らない再生可能エネルギーの地産地消をすすめます●みんなの畑や田んぼ「コミュニティガーデン」を増やし、生ごみのたい肥化を広めます●マイボトル、マイ容器で買いものができるお店を応援します●流域連携で脱ポイ捨て・ごみ拾い活動を展開し、浅川・多摩川への流入や海洋汚染を減らします●対話から行動へ——脱プラスチックに向けて市民と学び、アクションにつなげます●食卓にもっと日野産農産物を！有機野菜給食デイもつくります

5 感染症や災害への対策は日常から

●ご当地ハザードマップづくりを通して、地域を知り、人とつながります●防災の視点で生活を見直すイベントを市民とともにつくります●コロナの状況に応じて、迅速に対応できる宿泊療養体制を整えます

6 市民が主役！市政をもっと身近に

●財政勉強会など、市民とともにお金の流れや活用を研究します●オンラインも活用し、市民×職員のアイデアを市政に活かします●市民と政治、社会との関わりを深めるシティズンシップ（主権者）教育を推進します●在住外国人の意見を市政に反映する仕組みをつくります●議会報告会や資料閲覧など、オンラインも含め身近な議会をめざします

7 日野市の魅力、再発見！

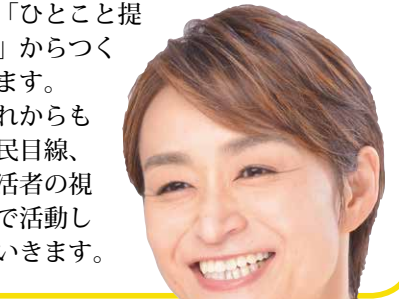
●空き家などを活用した多世代が集える居場所づくりを支援します●日野市のいまと昔を知るご当地ツアーを開催します●誰もがどこへでも訪れることができるよう、バリアフリーのまちづくりをすすめます●駒形の渡し（船）を復活し、川に親しむ機会を増やします●市民アーティストの活躍の場を増やし、市民が気軽にアートと出会えるようにします

市民と共に活動し、政策実現する生活者ネット！

1989年生協活動を通して集まった仲間が、食の安全を求め、地域政党「日野・生活者ネットワーク」を設立しました。翌年議会に議員（市民の代理人）を送り出して32年。絶えず、市民の声を聞き、共に行政への聞き取り、調査を行い、政策を実現してきました。

特に1996年に施行された「日野市環境基本条例」は15,000人を超える市民の直接請求によるものです。生活者ネットは日野市の環境を守りたいと思う市民と共に条例案作り、署名活動、議会での質疑に取り組み、条例制定へと動きました。

どの政策も市民からの生活課題である「ひとこと提案」からつくります。これからも市民目線、生活者の視点で活動していきます。



生活者ネットワークの提案で、実現！

●日野市環境基本条例の制定●日野市子ども条例の制定●日野市洪水ハザードマップ●援農ボランティア養成講座「農の学校」●ドッグランの設置●福祉オンブズパーソン制度の導入●全小中学校で男女混合名簿実施●カワセミハウスへの再生可能エネルギー導入●内部通報に関する条例の制定など

自分らしく共に
生きる社会を

●みなさまからのカンパを募っています。
日野・生活者ネットワーク
郵便振替口座 00160-7-562907